

【『宝塚ソリスト』とは】

25年前に4人でスタートした『宝塚ソリスト』。「Solisten (ソリストたち)」の名前を永遠の目標として、2012年4月には第15回の定期演奏会を行いました。現在は15名の陣容で活動を行っています。約15年前から太田務氏に指揮をお願いし、さらに副指揮者として安田博重氏にも指導をお願いしています。次のステップに向けて、新メンバーを大募集中！！

【過去の定期演奏会ステージ内容】

2012年4月(第15回)宝塚ベガ・ホール

1. マニフィカート (パレストリーナ)
2. 清水脩 男声合唱曲より抜粋
3. さだまさし作品集 (松下耕)
4. ビリージョエル作品集 (太田務 編曲)

2011年3月(第14回)宝塚ベガ・ホール

1. ジョスカン・デ・プレとプーランクの教会音楽
2. ニグロ・スピリチュアル
3. ミュージカル「オペラ座の怪人」など (太田務 編曲)
4. 山田耕筰名品集(2) (林雄一郎 編曲)

2010年4月(第13回)宝塚ベガ・ホール

1. パレストリーナとシザスクの教会音楽
2. シーシャンティ
3. 男声合唱曲「ある真夜中に」(千原英喜)
4. シャンソン名曲集 (太田務 編曲)

2009年3月(第12回)宝塚ベガ・ホール

1. 宗教曲 (パレストリーナ・ポルタ・コピ)
2. 合唱組曲「わたしはカメレオン」(木下牧子)
3. 山田耕筰名品集(1) (林雄一郎 編曲)
4. 宝塚歌劇の名曲 (太田務 編曲)

2008年3月(第11回)宝塚ベガ・ホール

1. 宗教曲 (ビクトリア・ロレ・千原英喜)
2. 東北地方の民謡による男声合唱曲 (小倉朗)
3. ブラザーズ・フォー名曲集 (太田務 編曲)
4. ヒットチャートを男声合唱で (源田俊一郎ほか 編曲)

【団費とその他の費用】

入団費は無く、月に5,000円の団費を頂きます。また、定期演奏会のためにチケット負担として15,000円程度かかります。練習・本番で使用する譜面台とバインダーは貸与で、ユニフォームはなし。

【活動と曲目】

1年に一度の定期演奏会開催(3月～4月)を年間活動の基軸とし、ほかに年に何度かのステージを行います。定期演奏会は通常4ステージ構成で、ポリフォニーを中心とした宗教音楽、太田先生の編曲によるポップス系のものが柱になります。ほかに日本語をたっぷり聴かせるステージが含まれるのも特徴です。

【練習日時と練習場所】

週に一度の練習で、土曜日から日曜日に行います。時間はたいてい16時～19時または18時～21時、阪急今津線の「甲東園」駅から徒歩2分にある甲東教会でほとんどの練習を行っています。教会の礼拝堂で行うときは心地よい響きに包まれながらの練習です。阪急の西宮北口駅から10分もあれば到着しますので、西宮・宝塚の方ももちろん、大阪方面・神戸方面からでもそんなに遠くはありません。

【募集パートおよび入団資格について】

現在各パートで新メンバーを募集しています。トップテノール1-2名、セカンドテノール1-2名、バリトン1-2名、ベース2-3名です。経験者であれば入団資格は特にありませんが、原則60歳までの方と致します。まずは一度見学にお越しください。

【指揮者の紹介】

常任指揮者 太田務: Westminster Choir Collegeにて合唱指揮修士号 Master of Music in Choral Conducting, University of Illinois at Urbana-Champaignにて合唱指揮/合唱史の博士号 Doctor of Musical Arts in Choral Conducting and Literature 取得。大阪教育大学、甲南女子大学非常勤講師。(財)神戸市演奏協会・神戸市混声合唱団副指揮者、神戸女学院大学コーラス部技術顧問。その他上智大学グリークラブOB合唱団、りそな合唱団、男声合唱団「風」、女声合唱団クローバー・エコーなどさまざまな合唱団の指揮や合唱指導を行っている。

副指揮者 安田博重: 関西学院大学グリークラブ 2011年度学生指揮者。ただいま関西学院大学院在学中。

【『宝塚ソリスト』への思い—メンバーの声】

O氏(59歳): 合唱を初めて経験したのは開学高等部グリークラブでした。卒業後全く合唱をしていませんでしたが、ひょんな事から7年前にメサイアを歌い続ける会に参加し合唱活動を再開しました。混声合唱の素晴らしさを発見したと同時に、暫く経って男声合唱もやりたいとの想いが募ってきたところに、先輩に誘われる形での入団でした。ソリストの定期演奏会のCDを聴いたとき、この団結構上手やけど、それでもまだまだ伸びる可能性がある団だと思いました。ですから、私くらいのレベルでも何とかついていけるのではないかと思います。入団した次第です。各パートの人数が少ないので、一人一人の責任が重大で影響力もあり気が抜けませんが、だからこそ歌唱力はつきましますし、指揮者の太田先生の熱心な指導、幅広いジャンルの曲を演奏することなどが、私にとって楽しい練習のひとつになっています。

I氏(52歳): 私は学生時代に合唱を始め、社会人になってからも2年間混声合唱をしていました。その後20年間ブランクがありましたが、合唱への思いやみがたく、ソリストの団員からお誘いを受けたのをきっかけに入団しました。今まで仕事一本で来た生き方を変えたいという思いもありました。ソリストでは、発声から歌唱法までひとりひとりに目の行き届いた指導をしてくれます。室内男声合唱団ならではの繊細なハーモニーと、ルネサンスのポリフォニーから現代ポップスまで幅広いジャンルの曲を歌えるのが魅力です。週末の楽しい練習で心身をリフレッシュしたい人にもお勧めですよ。

I氏(50歳): 甲陽学院高校グリー部卒・早稲田大学グリークラブ卒団、そのあと会社生活28年、仕事と両立で合唱は細々と続けていたが、大学OBとかシルバー等ではない男声合唱団を希望。オフの土日夜の集中練習、練習場が自宅近い西宮市内とのことで見学、太田指揮者を中心とする練習の質の高さ、「楽敵しい」雰囲気により即日入団を決断。男声合唱と言うと70～80名の大人数大合唱やシルバーが多いが、ソリストは20名程度、文字どおりの「ソリスト(ソリストたち)」。一人でも欠けるとすぐにアンサンブル練習に支障が出ます。皆が責任を持って歌うため演奏レベルはバッチリ!・・・でないこともときどきあるけど、上質を求める人にも十分満足のいくレベルだと思います。

【『宝塚ソリスト』の魅力—安田副指揮者の声】

宝塚ソリストのメンバーは皆、歌を愛しています。また、声を合わせることの喜びを知っています。

練習では、楽譜に書かれていることだけでなく、その曲の内側のかすかな陰翳をも丁寧に描き出そうと、まさに真剣そのもので歌っています。しかし、そこには決して殺伐とした空気はなく、むしろ愛情ともいえる暖かさがあります。これは歌を本当に愛しているからこそでしょう。宝塚ソリストの魅力はここにあるのではないのでしょうか。どうぞ一度、練習を見に来てください。

ホームページもご覧ください。「宝塚ソリスト」で検索!! (<http://solisten.web.fc2.com>)

YouTube「宝塚ソリスト」で検索すると、歌声が聴けます!!

そしてまずは連絡! 若林成幸 090-9708-0071 shige-wakabayashi@nifty.com へ!!